



鳥取大学医学部保健学科 教授 生体制御学教授、専門分野は脳神経疾患・認知症(アルツハイマー病)。アルツハイマー認知症に対する予防法としてのアロマセラピーの可能性を発見した、日本を代表する認知症研究者。

ア・ロ・マ の チ・カ・ラ enjoy aroma life 香りでお手伝い アロマライフ ～ VOL.5 ～

アロマセラピーでの 嗅覚の刺激は 認知症の予防になります

65歳以上の6~7人に1人と
言われる認知症。その約7割を
占めるアルツハイマー型認知症
ですが、実はもの忘れや記憶障
害よりも前に、最も早く現れる
症状が嗅覚障害だと言われてい
ます。「嗅覚は情動反応、いわゆ
る喜怒哀楽を起こす扁桃体」と、
記憶を司る海馬を含む大脳辺
縁系に直接達して働くのもの。
そこで認知症予防には、アロマセ
ラピーが有効ではないかと考え
研究に至りました」と話す浦上
先生。代表的な香り4種を使い、
午前中は交感神経を刺激し集
中力や記憶力を強化するレモン
&ローズマリーを、夜は副交感
神経を刺激して心身をリラック
スさせるスイートオレンジ&ラベ
ンダーを患者に活用して認知機

能テストを行ったところ、結果は
改善。しかもその効果は徘徊や
暴力・幻覚と言つた周辺症状で
ではなく、記憶障害や判断力障害
など中核症状にみられたことか
ら、アルツハイマー型認知症の予
防法としての可能性を発見さ
れ、大変な話題となりました。
またアロマセラピーのメリット
を、浦上先生はこうも言います。
「再生能力の高い嗅神経を直接
刺激することができますのはアロ
マオイルならでは。一般の方でも
使いやすいので、導入が容易で
あります。それにオーガニックなアロマ
オイルは、副作用が少ないこと。
認知症の方はもちろん、認知症
に不安を抱える健常者でも今か
ら使えますし、『元気がなかつた
老犬が、アロマセラピーの効果

からか走り回るようになった』と
いう新聞投稿もありました。
それでも医療分野での導入に
ついては、気をつけなければいけ
改善。しかもその効果は徘徊や
暴力・幻覚と言つた周辺症状で
ではなく、記憶障害や判断力障害
など中核症状にみられたことか
ら、アルツハイマー型認知症の予
防法としての可能性を発見さ
れ、大変な話題となりました。
またアロマセラピーのメリット
を、浦上先生はこうも言います。
「再生能力の高い嗅神経を直接
刺激することができますのはアロ
マオイルならでは。一般の方でも
使いやすいので、導入が容易で
あります。それにオーガニックなアロマ
オイルは、副作用が少ないこと。
認知症の方はもちろん、認知症
に不安を抱える健常者でも今か
ら使えますし、『元気がなかつた
老犬が、アロマセラピーの効果

大学という教育研究機関とし
て、正しく確かな科学的根拠と
医学的根拠に基づいた予防や治
療法を研究し、社会に還元する
ことが、私たちのなすべきことだ
と考えています」。

鳥取大学 生体制御学 浦上研究室

認知症および関連疾患の臨床研究、認知症の予防などを研究テーマにされている、日本でも屈指の認知症に関するエキスパート。中でも、認知症予防につながるとされているアロマオイルを使った研究・商品開発や、認知症の早期発見のためのタッチパネル式コンピューター「物忘れ相談プログラム」など、私たちの日常でも活用されている商品開発なども行っている。



(左上)鳥取県米子市にキャンパスをもつ鳥
取大学医学部の建物(左下)浦上研究室の
スタッフおよび大学院生の皆さん(右)簡単
なスクーリングテストでアルツハイマーの早
期発見を目的に作られた「物忘れ相談プログ
ラム」。

